

NPO法人  JSRC
縄文柴犬研究センター

もくじ・・ 1

獣害対策と係留 五味靖嘉・・ 2

お便りコーナー 秋田県 Tさん・・ 7

新規会員紹介コーナー 広島県 Sさん・・ 10

新規会員紹介コーナー 滋賀県 Aさん・・ 12

JSRC としての試み・・ 13

2021年総会、学習交流会開催について・・ 14

2020年度会員アンケートの集計結果・・ 15

事務所報告・・ 16

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センター

郵便振替口座 : 02280-2-106951

会事務所 : 〒 737-2214 広島県江田島市大柿町深江 478-1

☎ 080-4551-9965
 FAX 0823-57-2692

<http://www.jomonshiba.com/> Email: encounter_shiba@jomon-shiba.sakura.ne.jp

獣害対策と係留について—その後の実験から

縄文柴犬研究所 五味靖嘉

はじめに

少し乱暴な表現ですが、JSRCの目的には、縄文柴犬の保存活動があり、その過程の一つに社会的協働への探求が含まれます。獣害対策はその中の大切な取り組みであり、係留方法など避けて通れない問題です。ここではより多くの方が取り組めるよう、単純にしておりますが、様々な兼ね合いを考えると難しい課題でもあります。

この取り組みの基本として、縄文柴犬の大まかな特徴には「鋭敏な感覚・俊敏で軽快な動き」、などが挙げられます。縄文柴犬は、その多くが「直線的な追跡・行動」であり、他の多くの場合はジグザグに追跡する犬種が多いという点が挙げられます。

縄文柴犬の優れた要素を、最大限発揮する係留方法の研究が益々大切になるのは当然でしょう。

さらに、獣害対策に関しては、その地域の状況・条件を把握し、それぞれの英知を結集し発展させることで、縄文柴犬の能力がより発揮し易くなり、目的とする成果が期待出来るのだと思います。

1. 過去の経験と確認

過去の例によると、栗農園(会誌 20・33) (約2万㎡)では2007年頃より実験を試みて以来、ツキノワグマの被害は皆無となりました。ここでの縄文柴犬2頭は、冬期間を除き、目的とする土地に「住み着く(仮)」という環境・条件が重要だと考えました。このことは、野生動物との「棲み分け」論(今西錦司・進化論)に通暁するような事柄ではないかと考えております。

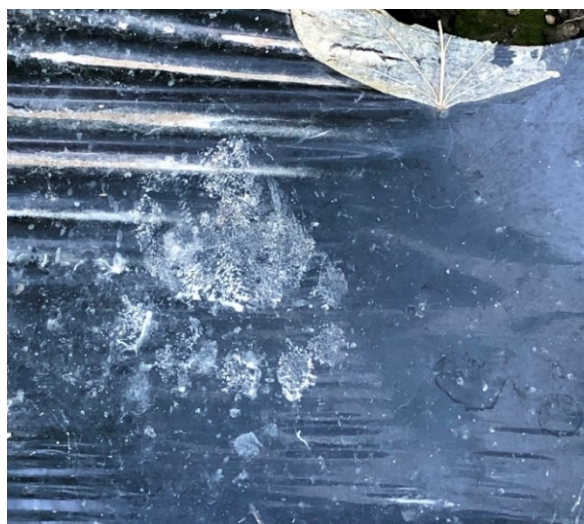
また、I県では、ツキノワグマによる牛舎や農作物(トウモロコシ)の被害が解決し、その隣の集落では、畑の作物が実験の間、保護されました。

第1図 被害状況(一部)

至る所で食べ散らかしている。



第2図 前肢跡 (2020.8.21)



第3図 2019年の実験。

360度回転の係留



こうした大型獣の取り組み経験には、「棲み分け」の考え方が、活かせるのではないかと考えます。

ここ秋田県では、2019～2020年、里山と民家の境界線上で、縄文柴犬に依存し、当初、相手の判らない小型獣との初めての取り組みとなりました。

農作物被害の状況を把握したうえで、現行法により避けて通れない「犬の係留」があります。縄文柴犬の特徴を活かせるための工夫により、係留負荷が最小限となる考慮・対策を試みました。

2. ハクビシンと特定するまで

農家による「追い払い対策」は、2017年から主に、伝聞効果を期待しての、忌避剤・嫌な臭いなどで追い払う、許可が求められるものを含め威嚇音・鉄砲や電動ガン、発砲音など様々に実施したが、期待するような効果は全く得られませんでした。

2019年になり実験的に、縄文柴犬の番犬テストを実施し、予想以上の効果が発揮されました。

2020年夏になって、探し求めていた「足跡」を発見しました。(第2図)

調査開始から3年目にして小型獣食肉目ジャコウネコ科ハクビシン属に分類される食肉類、ハク

第4図 2020年係留。

小型滑車を通して60mのロープ(第8図)を張り、係留綱を付ける。定位置となる場所で、引き綱の撓みが地面に接地しない。この長さ設定は、瞬時の対峙・追跡などに、最小負荷により行動できると判断している。



ビシン(白鼻芯、*Paguma larvata*)成獣の全長は約90～110cm・体重は約3～4kg。と確認することができました。

ハクビシンは「鳥獣保護法」により、個人での捕獲は許可申請の手続きを得てからになり、勝手に捕獲や殺処分は原則禁止となっております。

従って、今回の取り組みは、所謂、駆除作業・捕獲ではなく、縄文柴犬が対峙し、威嚇しエダマメ畑から追い払うのが目的となります。

2020年の冬、この地域周辺の聞き込みと目撃情報によると、この2年で野良猫がハクビシンの食餌捕獲対象とのことで、私の知る2匹を含め約10匹程の猫の姿が消えました。この地域では獰猛であり、小型犬もその食餌対象になるとの情報、縄文柴犬の能力が試される事態にもなりました。

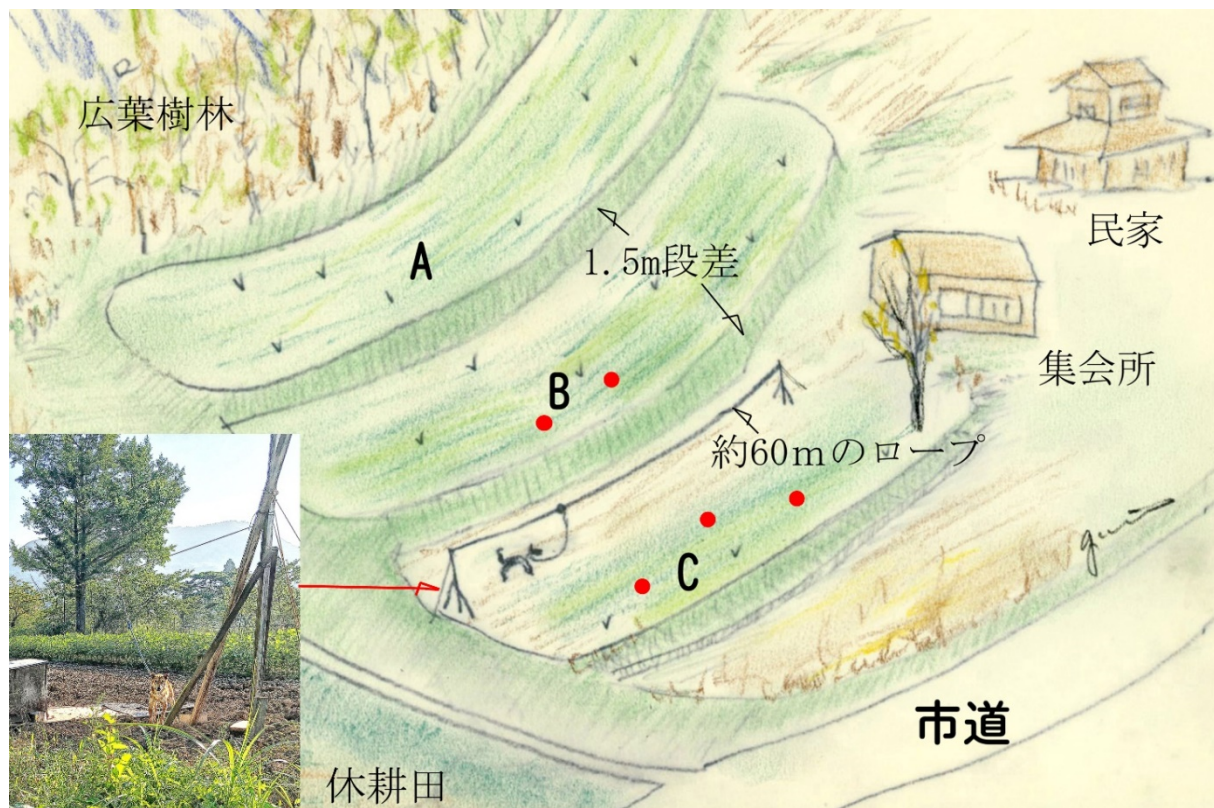
2020年秋には、ハクビシンの比較的新しい脱糞を発見し、分解すると果実・栗などの残骸を確認できました

第5図 全体概念図 ・赤丸印=ハクビシンの足跡

★過去4年間の獣の進入路や退出路、特に、A.B.C地点の様々な条件により係留地を設定した。

★耕作地の目安 ●A=主に春野菜・アスパラなど ●B=夏野菜（エダマメ・ネギなど） ●C=目的の甘いエダマメ。 ★左下図=係留C地点と縄文柴犬の寝箱位置。ロープと「係留綱」に注目。

(参考:広葉樹林方向300m付近までツキノワグマが侵入するという情報が寄せられております。)



第6図 番犬用（研究ノート）メモ

★日常的に、縄文柴犬の管理、必要な覚書・会話メモのように様々に記録をしている。（記憶はほとんど役にたたない。）

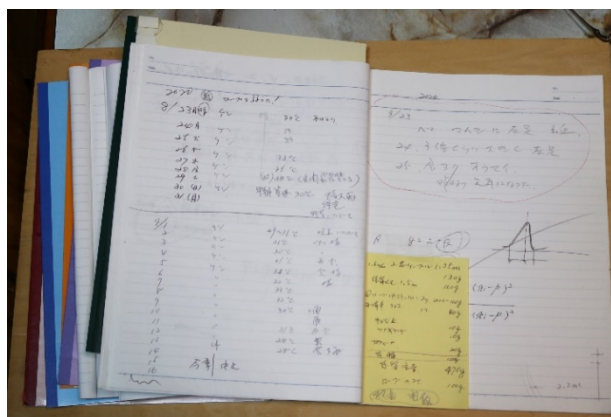
★（右・黄色いメモ用紙は年間300枚ほど使用）
そのメモ：係留には、1.6mm² 芯ケーブル 1.35m=130g。ヒモ 1.5m=160g。ステンレス小型滑車=40g。小型カラビナ 20g。ツナギリング 10g。ねじれ止め 10gとあります。

この重量計算により、ロープの位置が犬にどんな負荷があるかを検討（双曲関数）する。

★2芯ケーブルは、犬が俊敏に行動するとき、引き綱の揺れを最小限にし、剛性・弛みとか、慣性力などの負荷を減少させるのに役に立つ。

★ノート右上には若い雌犬が左足をマムシに噛まれ3倍に腫れたが3日で戻ったとある。その時々を考えをメモすると良い。

備考：必ずノートにメモを残す。



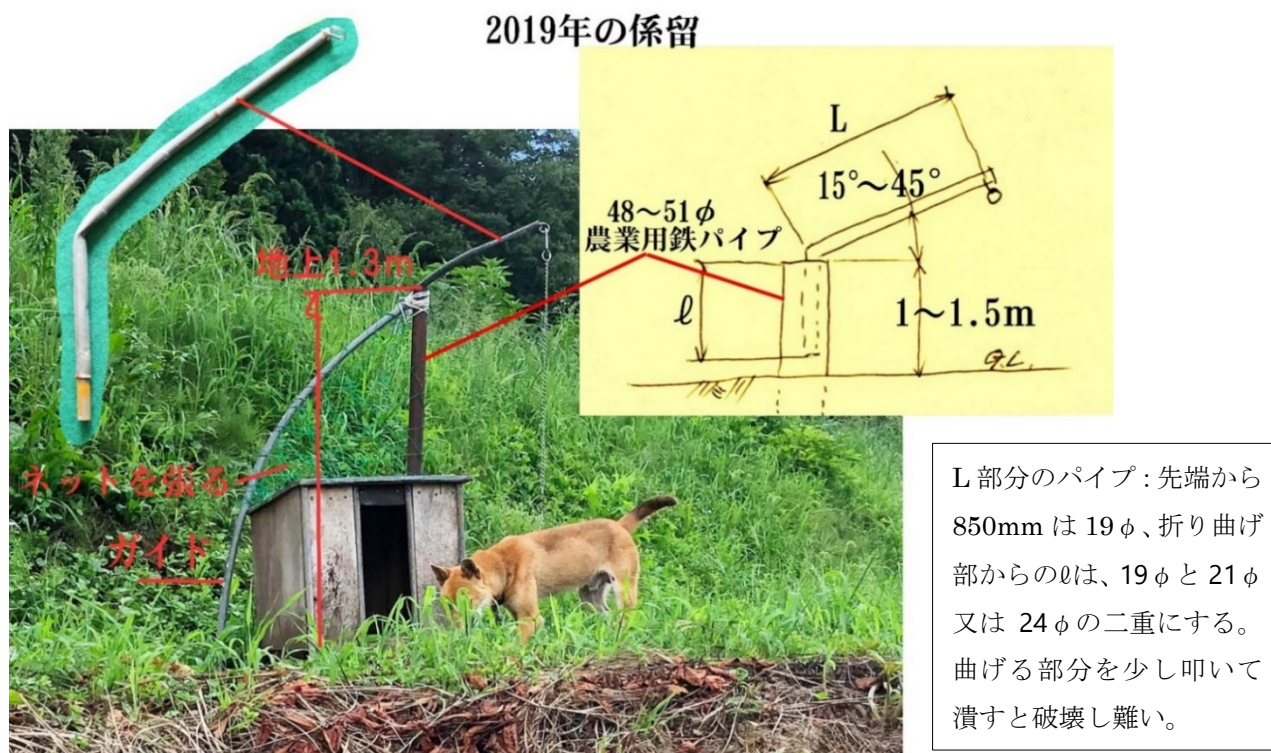
第7図 2019年の実験係留

2019年の係留方法です。L長さに大小の差はあるが、日常の係留方法です。最大の利点は、綱や、鎖など係留に必要な部品を吊るすので、犬への負荷が減少するだけでなく、行動半径が軽く広い。

右上図の長さや角度は、俊敏に行動した場合、引き綱の重量が加わり、旋回抵抗が関係するので、程よく調整する。(軽すぎても、自重による慣性力が働くので良くない。)

本図示ではL:1mの旋回半径と引き綱の長さは、おおよその直径約5~6mになる。

注: 廃品パイプを利用するが、普通、折り曲げすると亀裂が入るので、二重パイプにし折り曲げる部分を前もって潰すと良い。また、L長さによって、折り曲げ角度を工夫し負荷を調整する。



3. 農家による作付け計画

「エダマメ」被害を防ぐために、従来からの作付け方法を見直し、収穫し易い品種など、計画的に配置変更しました。特に、「甘い臭い」の収穫品種の配置と、一般的なエダマメや他の作物の配置などについて、耕作地の方の経験・知恵と工夫が、獣害対策や係留方法にとって、成功した重要な関係にありました。

4. 番犬・主要日誌

ハクビシンなどの行動から、午後、4時30分ころから翌朝7時ころまでとし、以下の観察が出来ました。実験の初日から3日間、小さいベテランの敏感な雌犬に依存しましたが、これが的中しま

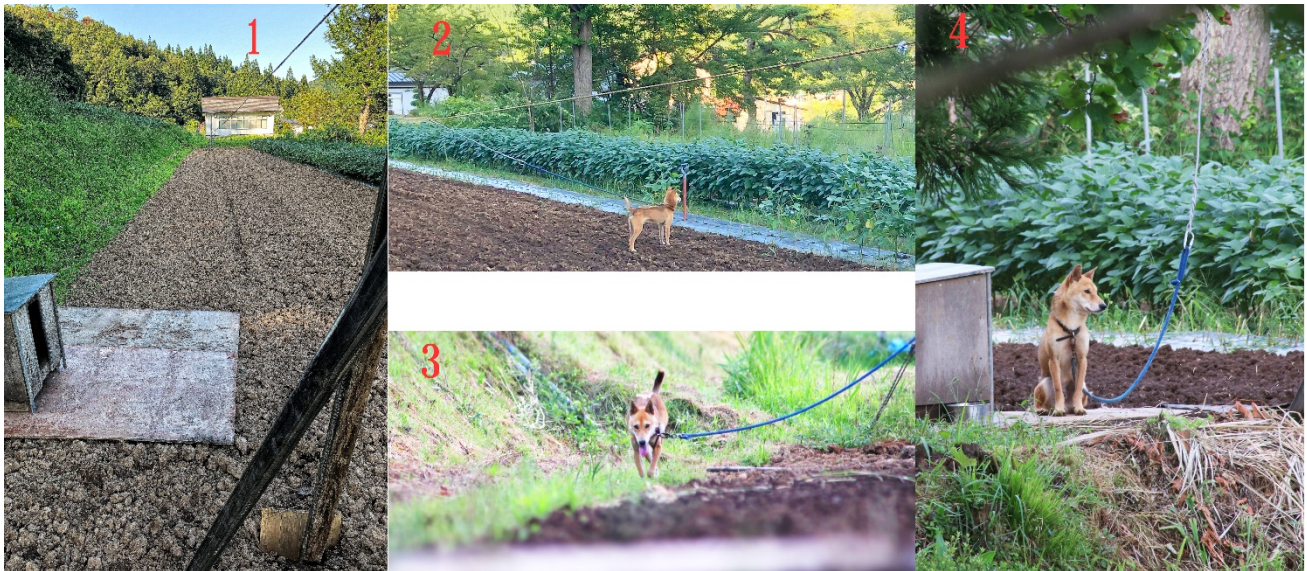
した。

2019年(★はメモより)

- ★8/2~10/2の間8/16日は台風の通過により休み。
- ★8/5: 雌6歳(体重6kg)晴。(ハクビシンよりやや大きい程度)
- ★8/6: 同雌個体、晴、深夜23時頃 威嚇吠。
- ★8/7: 同雌個体、晴、22時30分頃威嚇吠。
- ★8/8: 雄2歳に交代(体重9.5kg)晴、22時頃犬舎の雌が、音波を感じたのか迎合して吠。
- ★8/9: 雄個体、雨。8/10: 雄個体、雷雨、自宅犬舎の犬が音波を感じ迎合し吠。以後、静寂。
- ★9/20: 雄個体、21時30分頃、犬舎の犬が迎合して大騒ぎ。
- ★9/21: 雄個体、曇、22時~23時ころまで吠。

第 8 図

1. : 約 60m・径 9mm : 最も安価・通称「標識」又は「トラ」ロープ (自重 2200g) 張力約 80~100kg とし、ロープ自重による撓みは約 300~350mm。この数値で、ロープの高さと、係留長さを決める。今回は、約 2.5m (第 4 図の説明参照) になっている。(支柱ロープ位置高さは 1.5~1.8m)
2. : 中央位置での、引き綱の撓み量に注目。
3. : 土手側に寄った位置。獣の臭いが多いので繰り返し臭い取り。マーキングを終えたとき、撓みの量に注目。(写真は、望遠使用)。犬は体躯に歪みなく、正しい姿勢で移動しているのが判る。
4. : 寝箱周辺では係留ロープが絡まらない配置にする。また、係留・引き綱長さは地面に殆ど触れないでも良い関係にする。撓み位置に注目すると、犬への負荷が少ないのが判る。



★以後、10/2 まで静か。終了。

2020 年

★本年度から、直線にロープを張り滑車利用とし、前年度の経験から省エネ対策 (豆の実が付くころから実施) を入念に検討した。2 日前に小雨が降りその影響で、ハクビシンは下見したのか? 足跡を発見し、直ちに、番犬開始とする。

★8/23 : 雄個体開始。晴、気温 33 度。

★連日の高温状態、毎日水飲みの器を用意。犬は、守備範囲と認めたのか? ロープの端から端まで点検、臭い取り、3 か所でマーキング。

★8/23~9/15 収穫完了まで、夕方係留すると、私が見えなくなるまで凝視する。その雰囲気「寂しそう」な眼差しとなる。それから、間もなく縄文柴犬らしさの鋭さに切り替わります。

最初に、必ず点検巡回となり、「臭い取り」は概

ね 3 か所の同じ場所にマーキング、寝箱まで戻る日課です。2020 年は、威嚇らしい吠え方は皆無になりました。(クマの出没情報より、60m 移動繋留にし、通過経路を遮断する狙いも含めた対応。)

補足

犬は通常の飼育、例えば日常的に係留し、飼い主とは、それなりの信頼関係が確立 (重要) していれば、基本的に対応できる。特段の訓練は不要。

2019 年の回転式係留、2020 年での滑車係留、どちらも縄文柴犬には、最も負荷が少ない。極端に言えば、負荷により体躯の歪みは無い。

獣害対策は、地域差により動物もそれぞれ、習性も違いがあります。こうした環境・条件の違いにより、縄文柴犬の活用は多岐であり、今後も創意工夫が大切になるでしょう。(2020.10.1)

お便りコーナー

まもなく飼育三年になります

秋田県 Tさん

この三月で私の家の元は三歳を迎えます。二歳半のころからは随分大人びて飼育が楽になりました。振り返ってみると、一歳までは仔犬のときを除き、たいへんでした。どんなイヌでも同様と思いますが、その時期は成長が著しく、わずか1ヶ月で何年にも相当する位変化するため、それについていくのが難儀です。イヌとの間合いや関係性が近いほど難儀を経験します。そこで何かの参考になると思い、現在にまで気付いた事柄を書いてみます。

①「ミウチ」(身内) 意識の強い特徴がある。

元は「ミウチ」と他を大きく区別するという事です。生活を共にする人を「ミウチ」と考えた場合、吠えもしませんし、分かっているのに流して動きもしないときもあります。しかし、自分の「ミウチ」以外の方が自分の管理しているという領域に入ると、絶対に許さないほど吠え続けます。散歩途中でよく会う人程度では妥協しません。したがって、番犬には最適です。私達夫婦とは「ミウチ」の関係ですから、時には同じイヌの仲間であると考えていると思えるような行動もします。

最近自家用車に乗せ始めました。日曜日に買い物するとき、運転席の後ろに元が座れるように床板状のもので平らな座席シートを作り、隣に妻が座ります。この「ミウチ」同士の同行動というものが好みなようで、運転する私と同じ前方を見たり、横をみたり、疲れたら座ったり、買い物中は車中で待機しています。待機御苦労のおやつ付きとなると、これも好きにさせる理由です。この日は終日お利口さんに振る舞います。自分ばかり家に置かれ、留守番するのはおかしいと思っていたようです。

しかし、ことによると私達だけで出掛けるのはとても心配で、自分がついて行って「ミウチ」を見守ってやらないと安心できないからかも知れません。家の作業にしても、自分が見ているところでやることには黙って見守りますが、見えないところで何かしたと思うと必ずその場所を点検するため、引っ張っていかうとします。元の管理下に我々が置かれ、何でも知る必要があると思っているのかもしれない。

②見るのが好きです。



見るといっても「見通す」とか「見渡す」という行為が好きです。斜面を登って上に立とうとしたり、交差点や道路に立つとじっと前方を見ることが習慣になっています。本当は道の真ん中で見通したいと考えています。次に行こうとしてもここで見ていたいとか、もう少しこのままと主張し、じっと見ていようとします。高いところから見渡すことも好みに合います。そして、平常の状態を記憶しています。変化のない状態であるか否かをまず覚えます。たとえばケガをして歩き方が多少違う人がいれば、遠くに見えててもその歩き方を問題視します。普通どういう歩き方がいいのかということイメージとして持っているようです。こういうことも番犬に最適な才能です。遠くを見る力とかわずかな変化、かすかな音もゆるがしにしません。何もないところでも一声吠えて何か潜んでないかもチェックしたりします。一種の威嚇ですが、本当に平穩であることを確かめる方法のように見えます。

私の顔も実によく見えています。目か表情のどこかをチェックして判断しているためか、その日の私の散歩コースを察知することもかなりできます。歩調も熟知しています。われわれが苦手なタイプにはよく意を汲んで容赦なく吠えます。よくわれわれの動きや心理を観察によって予測した結果だと思います。

③清潔好きです。

荒っぽいやや乱暴な行動が好きで、これに手を焼いたこともありましたが、意外に汚い環境は好みません。犬小屋は整然と使いたい希望をもっています。私の住む東北秋田、とくに横手市は県内一の積雪量があります。散歩後丁寧に自分の足をなめ回し、自分が汚れているときは玄関内に入ってこず、玄関戸の前で座り続けます。雪どけ時は妻が足をタオルで拭いてくれるのを待ちます。この冬は常時雨合羽を着用しています。着せるには技術が必要で少し手間取りますが、餌を使うと案外簡単にできます。私はあまり得意でないので、妻の役割になっています。毛が汚れて犬小屋内が湿るのはいやなようです。

朝の散歩までどうしてもオシッコががまんできないようなときがたまにあります。マイナス10度など超低温のとき、二度もフンをするほど排泄物が腸内にたまっているとき、安眠できない出来事が夜中であって吠えたときなどです。また何か面白くないことがあったときもわざと少しやります。玄関先の風除室に半畳分の柵と犬小屋を移して冬は飼育しているので、ここをオシッコで汚されてはまずいと考え、夜間用仮設便所を用意しています。市販のイヌのトイレ用トレーにトイレシートを敷くとめちやくちゃにしまい、あきらめました。そこで自家用車のカーマットの上に新聞紙を敷いたものになりました。仔犬のときに新聞紙への排泄を教えたので、新聞紙はオシッコ用具と認識していたからだと思います。上手に神経を使って外に飛び散らないように少しだけ排泄します。フンは絶対しないので、冬の時期たまに行うこの程度のオシッコは仕方ないと考えています。これに対し、新しい毛布を小屋内に加えたときや何か私達の配慮の気持ちが伝わるとオシッコはすることは全くないので、本当はみながまんでくる範囲ではないかとも考えています。自分の身の回りは常時きれいでありたいと考えています。われわれに対する毛繕いのような行為もその一環と考えています。自分だけでなく連れて歩く人もきちんとしてもらわないと恥ずかしいと考えているのかも知れません。

④学習系の生き物です。

いろいろな経験や体験を力にしていくタイプの犬であるということです。特に親や兄弟から教えられることも少ないうちにわれわれが預かったわけですから、本能的なこと以外は自らの経験や体験、他の犬とのコミュニケーションによって得たものが大きいのは当然です。先代の柴犬のときには極力他人に預けたりしませんでした。今回は意識的に信頼できる業者を探し、必要があれば預けようと考えています。預け先で他の犬の様子を間近で見たり様々なことを知ったりできます。どうも自分よりも大きいイヌに憧れているようです。昨年一回ドッグランにも行ってみました。そこでは元は大人しそうな犬に見えました。小さなブルドッグのストーカー行為に迷惑顔で逃げ回りました。小さい犬はどうも苦手なようです。

医者に診てもらった時は実に礼儀正しくします。尻に体温計を入れられても、耳の穴を掃除されても、看護婦には何ら抵抗しません。全くの優等生の振る舞いです。万一暴れたらと考えたわれわれの装備も使用する必要はありませんでした。何か待合室で雰囲気を感じたり、他のイヌから教えてもらったのでしょうか。もともと決して病院は好きなどころではなく、その場所に来ただけで逃げ出そうとしましたから、異様なものを感じたことは確かです。

一番効果があるのは同じ縄文柴犬の暮らしぶりを見ることです。ちょっと立派になって帰ってきます。とくに直接のコミュニケーションはないように見えても、何かをつかんで来ます。これまでのところ同犬種との交流が成長のためになるように思えます。

最近市街地にもキツネ・タヌキ・ハクビシンなどが出没するようになってきました。そのうちにイノシシや熊も出るかも知れません。たとえば、キツネを見たとき、元は慎重なので、ただ吠えて様子をまず窺いました。出方を窺い領域から追い出す対応をしました。追跡しようとしても決して無謀に挑んではいきませんでした。猟犬の多頭飼いで先輩犬から学び、対応も違うと思いますが、私との散歩程度では、他の動物と遭遇した場合追跡して吠えるのがせいぜいのところ。それから先は学習して訓練を繰り返してできる世界でしょう。かなり訓練によって確実に成長するイヌと思います。

⑤ことばで語りかけることは有効です。

この元にはことばでの説明が必要です。聞きたくない小言はすぐ顔をそむけますから、ある程度意味は通じます。分かるかと分かるまいと言葉で話したほうがよいと思います。私の妻は褒めて大人しくさせようとして、ある程度成功しています。「おりこうさん」とか「御立派さん」とかお世辞を駆使して英語の外国人教師のように、褒め言葉を上手に使い撫でます。私の前ではあまりそういう扱いにされる姿を見られると格好がわるいと思います。私がある場にいなくなるとゆっくりするらしく、褒め言葉にまんざらでもない態度になります。それによってかなり普段の生活も違って来たことは確かです。褒め言葉は有効です。私の場合説教します。すぐ話題をそらそうとしますが、悪いことはすぐ説教します。これはいやそうです。知能が高く、われわれをよく研究・観察しているため、よくことばは通じます。

大切なことはこの元の一生を預かっているわけですから、責任をもって飼育することにあります。私の場合、基本的生活のペースメーカー的役割を果たす機能を伸ばしていこうと考えています。普通のイヌ以上の身体的能力や知力があるわけですから、各人が自分の生活に即したイヌの良いところを見つけ、それを伸ばして共同の生活の中で活かしていけば良いのではないのでしょうか。そのイヌの良いところの発見は、交流や他の犬種との自由な振る舞い中で比較したり、観察するとできると思います。



新規会員紹介コーナー

広島県 Sさん

私たちの家にやってきた生後2か月半の子犬はベルと名付けられました。

縄文柴犬を飼うきっかけは、あるイベントでJSRCの方が紹介をしていたこと、私自身が農業を生業にしているが、畑に設置している電気柵の景観、作業性の悪さが好きでないことです。

2021年1月から、中古住宅を購入して今まで住んでいた実家を離れ、(と言っても500mほどですが)新たな生活がスタートしました。私たちが住む場所は広島県三原市。日本中の例に漏れず、獣害はほどほどにあります。今回購入した住宅は家周辺に田畑が6反ほどあります。ここを電気柵なしで縄文柴犬に番をさせたら最高ではないかとベルが来る前まで、甘い考えを巡らせていました。

引っ越しをして1週間ほどして、家に子犬がやってきました。最初の心配は作った犬小屋に入ってくれるのか?ということ。すぐに入りました。第一関門はクリアです。次の心配は四六時中吠えるのではないかと。全然吠えません。ゆうパックが来てもヤマト運輸の人が来ても尻尾を振っています。

一応番犬として飼っているのでも少々心配になってきますが、無駄吠えしないのはいいことだと思って納得しています。

2月末でベルがやってきてまだ1か月半ですが毎日が何となく楽しいです。朝起きたらまず新しい家族を庭に放します。彼女は本当に人懐っこく、激しくじゃれついてきます。朝ごはんを食べた後は家族全員で近くの保育所まで散歩ついでに歩いていきます。3人の子供はベルのリードを持ちたくてよく争っています。



基本は半分繋いで、半分放し飼いです。社交的なベルは近所の犬が散歩していると走って行ってしまいます。仲良くしたいみたいですが、大抵の犬は嫌がっているのでも、散歩が多い時間帯は繋ぎます。私たちが家の周りで作業するときはできるだけ離します。

ベルは家族のアイドルですが、近所の方々もベルを見に家を訪ねてきます。ベルが家族や新しい家に良い風を吹かせてくれていような気がします。

家から離れて仕事をしているとベルがおしっこしたくて鳴いていないか、気になります。珍しく大きな声を出しているとお腹が減っているのかと考えてしまいます。

なんだか子どもが1人増えた気持ちです。私が相手をしないと、普段は見向きもしないサンダルをくわえて犬小屋に持って入りました。ほんとに人間の子どものみたいだなと感心しました。

彼女の獣害対策としての能力はまだまだ計れませんが、子どもは親の希望通りには育ってくれないと思っているので、期待せず見守りたいと思います。生後4か月になったベルは食欲旺盛、好奇心旺盛、知らない人に少しだけ吠えるようになってきました。耳の良さはさすがです。遠くに居る時に呼ぶと一瞬首を伸ばし、声のする方を見るジッと見ます。何かを考え次の行動をするベルは賢いのでは？と、親ばかのように考えたりもします。

これから自分たちもベルも、新しい環境で過ごしていきますが、このきっかけを作ってくくださったJSRCの皆さまには本当に感謝申し上げます。これからも色々な情報共有や経験の共有などを期待しています。よろしくお願いします。



新規会員紹介コーナー

縄文柴犬を家族に迎えて

滋賀県 Aさん

1. 縄文柴犬を知ったきっかけ

滋賀県で築40年の中古物件を購入し、リフォームをした際に、薪ストーブを導入しました。そこで、薪を調達するために、自ら山に入り木を伐採し薪を割り乾燥させることが、週末の楽しみに代わりました。そして生活の中で里山保全だけではなく、地域での獣害被害を身近に感じていました。そのような中、写真家の宮崎学さんの講演会で、縄文柴犬の存在を知りました。このときから私自身、獣害被害や私自身の山の相棒として犬を飼うとすれば、「縄文柴犬だ！」と漠然と感じていました。

2. 縄文柴犬を家族に迎えて

子どもたち（小6、小2）も犬を飼いたいと要望し、犬との暮らしという新たな経験を積ませていきたいと考え、JRSCに連絡させていただきました。

21/1/7に、年末の福岡への帰省からの帰り道という良いタイミングで柳楽宅へ向かい、テツ（哲）を我が家に迎え入れることができました。初日は、ゲージからでてこなかったのですが、2、3日たつと、家族にも慣れ、薪ストーブの前で、子どもらと一緒に寝転ぶようになり、テツ自身も家族の一員となりました。いまでは、テツは家族に甘えつつも、薪ストーブの前がテツの居場所となり、ぼかぼかで悠々自適な日々をおくっています。私自身は、毎朝6時に起床して散歩に行くのが日課となったことで、健康な日々を過ごしています。テツに癒されながら、ともに楽しんで暮らしていきたいと思えます。



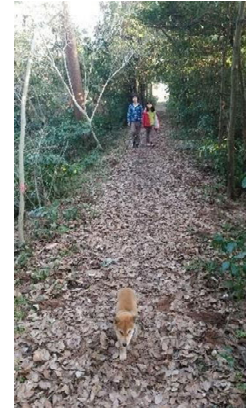
ストーブの前で



息子のお尻で寝る



畑の犬小屋



森の散歩

3. テツとの夢

私は、山にチェーンソーと猟銃を持って馬に乗って、テツを従え、木を切り、猟をする生活を夢見しています。ただ、現時点では一ソフトウェア技術者なので、この夢とソフトウェアをなんとか繋げられないかを日々模索・妄想中です！

また、テツを通じて、ここ滋賀でも人と犬と自然の共存・共生による、よりよい社会を作り上げられるように微力ながら取り組んでいきたいと考えています。まだまだテツのしつけに悩んでいる最中ですが、少しずつ夢の実現を目指していきたいと思えます！！

※この投稿を書いている最中も、テツは私の膝の上で寝ています（笑）

JSRCとしての試み

事務局 向井 亮太

昨年12月に会員の方がお亡くなりになり、ご親族の方よりご連絡を頂きました。

以下内容

- ・ JSRC 犬籍の親子の犬を2匹を飼育していた
- ・ 2010年生まれ雌 2011年生雌の2匹
- ・ 親族の方も別で2匹飼育しているので飼うのは難しい
- ・ 出来れば2匹一緒に飼っていただける方を探してほしい
- ・ 現在以前よりお世話になっていたペットショップに預かってもらっているため早めに送りたい

以上、ご親族の方からの要望でしたのでJSRCとしてできる限りこの要望に応えられるように対応しました

事務局の対応 ※今回のケース

- ・ 事務局の方で電話対応、ショートメールでの連絡対応
- ・ JSRC 犬籍の犬である事を事務局で確認
- ・ 急ぎでしたのですぐに対応できそうな方(一旦お預かりできそうな方)を事務局でリストアップして以上の内容をご連絡。
- ・ その間にご親族の方には近場での里親とは限らない事を伝え飛行機などの輸送もご検討して頂く
- ・ 今回は広島の記事、Nさんが対応してくれましたのでその事を親族の方に伝え、飛行機による輸送のため、予約をしてもらう
- ・ 輸送代金は親族の方に負担をして頂きました。
(身内の居ない方の死去の場合、輸送代はJSRCの経費で負担を検討したいと思います)
- ・ 予防接種証明書など犬の身の回りの物を後日送って頂きました。

今現在もこの親子の2匹は広島の記事、Nさん宅に一旦お預かりして頂いています。

まだ新たな里親は見つかっては居ませんが、今後もJSRC犬籍の犬が保健所に送られたり迷子にならぬよう会として犬の一生を最後まで責任をもって守っていきたいと思っています。

今回のような事以外でも何か犬の事で相談がありましたら何でも相談してください。

また、この親子の里親になってくださる方も募集しております。

事務局連絡先

737-2214 広島県 江田島市大柿町深江 478-1

電話 080-4551-9965 FAX 0823-57-2692